

こんにちは。私達は八月・九月の二ヶ月間、松岡あきみち議員のもとでインターンシップをさせていただいている大学生です。今回は松岡議員のもとで勉強したことを皆さんに報告させていただきます。

インターンシップでの出来事

◆駅前での演説・活動報告配布◆ 朝7時～9時

私はインターンシップを通して、何事にも挑戦していこうという気持ちが生まれました。今までは、興味がないことには全く手を触れませんでした。今は興味がなくても、初めてのことで、色んなことを経験していきたいと思っています。



最初はとても緊張しましたが、少しずつ慣れていきました。挨拶を返してくれる人がいると、とても嬉しかったです。

◆議会傍聴◆ 建設水道常任委員会

議題の一つとして市営駐車場の料金改正が話されていました。周辺に民間のコインパーキングがいくつもできたので、競合する為に一時利用の料金を低くし、長時間利用の料金にも上限を設定しようという提案でした。漠然と何円が適正価格なのかなあと思いつながら聞いていましたが、「議員の皆さんは赤字ならば民間に売却してはどうか」「駐車場の有効な土地利用の方法は他にないのか」など提案の可否だけでなく、様々な角度から問題を検討していたのが印象的でした。

◆姉妹都市サンマテオの少年野球団が来日◆

四年に一度、豊中市を訪れる少年野球団を歓迎し、親善交流試合を観戦させていただきました。野球団の方の中には、四年前にホームステイした豊中市の家族とその後も連絡を取り合い、今回もそちらに宿泊することを希望した人もいて、姉妹都市との交流が深いことに驚きました。私達も少しお話しする場をいただいたのですが、何を話せばいいか分からず緊張し、もったいないことをしたなと思いました。もっと積極的に話しかけられるようになりたいと思います。



インターンシップ生の活動報告

松岡議員のアドバイスを参考にしながら、私達が主体的に行っている活動の報告をさせていただきたいと思います。

◎弘済小・中学校授業見学 担当 山本・大杉

児童養護施設や情緒障害児短期治療施設の子どもたちが通う弘済小・中学校。九月十二日(月)、私たちインターンシップ生が訪問させていただきました。小学校四年生5人と、ローマ字入力の授業を共にしました。担任の先生に教えていただいたことは、「一番大切なのは、子どもとの距離が近いこと。近くないと、誉めても怒っても子どもへの心には届かへん。」ということです。こちらの学校では児童・生徒を呼ぶ際、下の名前呼び捨てになっていますが、その理由に気づかされました。純粋に楽しませていただいた授業見学ですが、「授業補助のボランティアを常に探している」という人

手不足な現状についても考えさせられました。今回のインターンシップ生による授業見学も、ボランティアの輪が広がっていくきっかけの一つになればいいな、と考えています。

◎後援会名簿の整理 担当 長内

基本的な事務作業です。私達は実際に豊中市の地図を作ったり、松岡議員を応援してくださっている方々の名簿の整理をさせていただいたりしています。この作業を通じて、情報を管理するにあたっての慎重さや責任、地味でつらいと思われがちな作業も工夫次第で効率があがり、考え方が変わったりすることを学びました。

◎敬老の集い 担当 城本

豊中市では小学校区ごとに校区福祉委員会が設けられていて、校区内の身近な福祉問題の解決に努めています。南丘小学校区で九月十七日に行われた「敬老の集い」の運営のお手伝いをしました。実行委員会の会合に出席させてもらったり、自分が窓口になって発表団体の方と打ち合わせをしたりするなかで、イベント一つをとってもたくさんの人、団体が協力し合って校区福祉が成り立っているのだと感じました。

◎市政報告会の運営 担当 中井

松岡議員の市政報告会において、私達が前座として自主テーマで発表させていただくこととなり、二か月かけて準備しました。人前で発表し、自分の考えを伝える難しさ、苦しさをものすごく実感し、今までにない経験をさせていただきました。

インターシッフ10期生の紹介

インターシッフ生5人を中井・大杉が紹介します。自己紹介ではない面白さを味わってください！



中井 奈央

近畿大学法学部一回生

発言は奇想天外 努力は人三倍

・発言の根拠を聞かれて、「根拠って何ですか?」と答えた八月中旬。現在根拠の大切さを実感中。

・一か月のインターシッフ活動時間は247時間。



長内 沙樹

近畿大学法学部一回生

何気に毒舌 密かに観察

・さりとらと問題発言。皆の代弁者。目指すは強い女。
・人の特徴・変化をすぐに見抜くので、みんな正直になる。この人に隠し事はできない。



城本 晃佑

大阪大学外国語学部三回生

知能派の白一点 歴代最大の男

・唯一まともな提案をし、一番礼儀正しい大食系男子。
・女四人の生意気な発言もおおらかに受け止める、体も懐も大きい男。



大杉 明日香

大阪大学法学部一回生

エンジニアディファーマン

・一番のパソコン使い。写真加工、インターシッフ作り作成、動画作成すべておまかせ。
・名簿整理の効率化、ツイッター導入を成功させた。



山本 彩加

大阪大学経済学部二回生

ムードメーカー&ムードフレイカー

・持ち前の明るさでみんなのストレスを和らげる。喧嘩ゼロのインターシッフはこの人のおかげ！
・率直な質問で空気をクラッシュ。インターシッフの空気を温かくも冷たくもするもこの人次第。

松岡議員の歴代インターシッフの中で最多の5人であることに加え、個性派ぞろいのため波乱万丈のインターシッフとなっております。

松岡さんってどんな人?

最後に、松岡議員のイメージを、学生目線でお伝えしたいと思います。皆さんが知らない松岡議員の一面があるかもしれません。対談形式でゆる〜く進めていきますので、楽しんでいただければ幸いです。

——松岡さんの第一印象は?

長内:…いつも緑地公園駅前に立っているのを見ていて、頑張ってるしやるなあと思っていました。議員交流会でお話した後、駅で会ったとき、活動報告書を両手で、とても丁寧に渡してくださったのが印象的です。

中井:…最初の会いた時は全然議員さんらしくないなあと思いました。議員交流会では、他の議員さんとはみなスーツなのに一人だけラガーシャツでめちゃくちゃ目立っていました。

大杉:…私は交流会に行っていないので、面接の時に

初めてお会いしたのですが、ちょっと怖い印象でした。でもインターシッフ一目目に、OB・OGさんと楽しそうに話しているのを見て、面接だから怖い雰囲気をあえて出しているのかなあと思いました。

城本:…僕も確かに怖い印象は受けました。体育会系的な厳しさ怖さを感じたので、非常に緊張していました。

——一か月以上たった今の印象は?

城本:…結構冗談も通じる気さくな印象です。

大杉:…確かに、だんだん仲良くなれている気がします。昼食をとる時に、大学時代の話をして頂いたり、一緒に民主党代表選挙のニュースを見たり、和やかな雰囲気です。もちろんミーティングの時は空気が張り詰めますし、容赦のない指摘で縮こまることも多々あります。

山本:…でも松岡さんの指摘は、論理的で的を射ています。なるほどと納得できるものはかなりなので、怒られてはいるのに怖くはないんですよ。指摘されるたびに自分が甘くて無責任だ〜〜〜が実感できて、なんとかしなきゃ〜〜〜と思います。

中井:…当初思っていたよりも怖い議員さんではなく、実はすごく優しい議員さんだと実感しています。
城本:…なんで?~

※『なんで?』は、根拠まできっちり考えるため、インターシッフ生の口癖です。

中井:…根拠って何ですか?~
一同:…いります(笑)

【編集後記】2ヶ月間、色々な出会いと経験をさせていただきました。最後になりましたが、松岡議員、支援者の皆さまに私達のインターシッフを支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。